

【自己紹介兼取組紹介2】

「ペットボトルとキャップの国内資源循環
～できることから始める動静脈連携・官民連携～」

株式会社木下フレンド 代表取締役社長

木下 公次 氏

代表者プロフィール



株式会社 木下フレンド



代表取締役社長

木下 公次

1991年_2013年

(株)ジェイ・アール・エス代表取締役

2012年 (株)木下フレンド代表取締役社長就任

【業界団体の主な役職】

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 副会長

一般社団法人東京クリーンリサイクル協会 理事

所沢一般廃棄物処理事業協同組合 副理事長



木下フレンド 会社概要



社名 株式会社 木下フレンド

代表 代表取締役社長 木下公次

設立 1972年4月28日

事業内容 廃棄物収集運搬および中間処理 等

年間3万1千トンの取扱い高

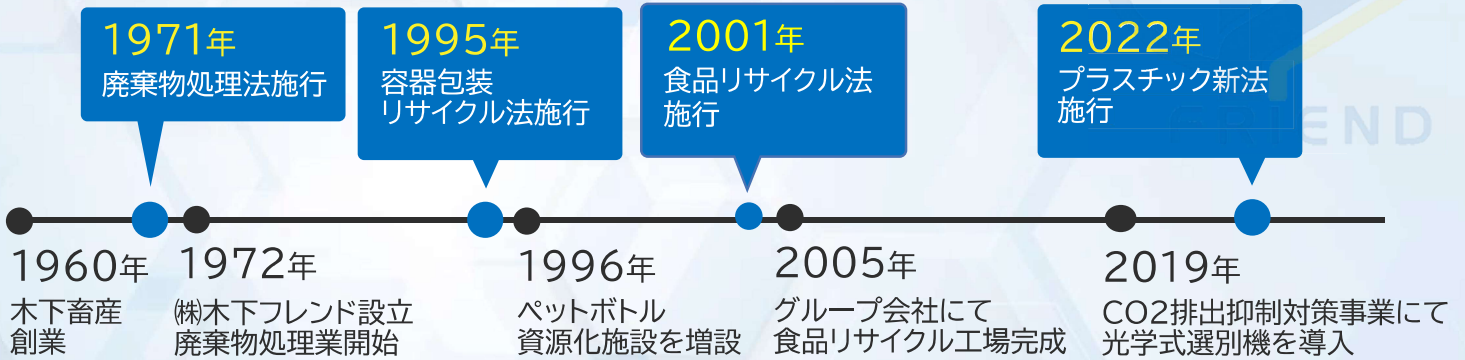
約5000事業所と契約し、車両台数約200台で東京23区、多摩地域、埼玉県西部を中心に回収しています。

活動拠点:本社(所沢)、東京支店(池袋)

板橋営業所、葛飾営業所、大田営業所



木下フレンド 会社概要



国の方針に従い、事業計画を決定 社会に必要とされる企業へ
 2022年からサーキュラーエコノミー推進の取り組みを加速

サーキュラーエコノミー ~ ボトル to ボトル ~

回収・再原料化・商品化までの流れ



サーキュラーエコノミー ~キャップリサイクル~

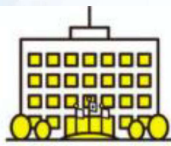
埼玉県三郷市:「環境省先進的モデル形成支援事業」採択

名称 ペットボトルキャップの拠点別回収・リサイクル・再商品化の先進モデル事業

期間 2024年10月~12月

内容 ペットボトルキャップ専用の回収ボックスを市内の公共施設等に設置し分別回収を行い、組成分析調査や効果検証等を通じて、ペットボトルキャップの分別回収に最適なリサイクルビジネスモデルを検討する。合わせて、効果的な周知方法の検討を行う

場所



市役所



学校



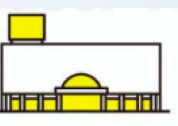
図書館



体育館



スーパー



商業施設



脱炭素、資源循環を実現「燃やす」から「リサイクル」へ、ペットボトルキャップの処理の仕方を転換
地方自治体へ広げる全国標準モデルを

サーキュラーエコノミー ~キャップリサイクル~

埼玉県三郷市:ペットボトルキャップ国内資源循環スキーム

分別

三郷市の皆様



集める



回収・運ぶ



リサイクル



光学選別機

再資源化

再製品化



買い物カゴ

ボールペン

クリアファイル

分別回収の組成調査、効果検証+啓発活動

最適なリサイクルモデル



育てる美る、資源循環の街

地球の未来のため



“ペットボトルキャップ”の リサイクルにご協力を お願いします

リサイクルすることによって…

- ① 燃やさないことでCO₂排出削減
- ② 回収されたキャップは、リサイクル原料として再び資源に



©三菱商事株式会社 2019年4月現在

ペットボトルキャップのリサイクルは環境に優しいの？

ペットボトルキャップの回収率は、ボトル本体に比べ、まだまだ低いのが現状です。質の良いキャップリサイクルを行うことで、CO₂の排出削減、ゼロカーボンシティの実現につながります。



ペットボトルキャップはどのようにリサイクルされるの？

市民のみなさまに集めていただいたペットボトルキャップは、回収業者により運搬し、リサイクル工場にてリサイクルの工程を経て、新たな製品へと生まれ変わることができます。



ペットボトルキャップのリサイクルは、どこに出せばいいの？

学校や公共施設などに専用の「キャップ回収ボックス」を設置しています。回収ボックスに入れて頂いたキャップを資源として再利用することができます!

キャップは軽く洗ってから集めてください

お近くの回収場所はHPからご確認ください

回収ボックスの設置希望は、HPからお問い合わせください

三番市 クリーンライフ課 環境対策課